

1. 開催日時

2019年7月7日(日) 10:00-12:00

2. 開催場所

元気21 Mサボ会議室

3. 参加者 (敬称略)

13名 奈賀、及川、松井、竹田、西村、国安、富岡、中島、清水、林、酒井、金子
飯塚(自然部会、土湯見学参予定)

4. 会合内容

- 1) 勉強会: 「群馬の自然災害の歴史について」 講師:中島啓治氏
- 2) 今年度の地域環境学習事業について
- 3) その他連絡事項

5. 勉強会: 「群馬の自然災害の歴史について」

講師:中島啓治氏

- ・書籍「ぐんまの自然と災害」(上毛新聞社) の紹介 編集委員会メンバー: 中島啓治氏
- ・火山災害 浅間山 2万8千年前の大噴火 ⇒ 前橋、高崎の平野部形成
天明3年(1783年)夏の大噴火 火砕流
草津白根山 頻発、水蒸気爆発、有毒ガス、酸性の川、ヒ素等
- ・地震 西埼玉地震 1931年9月21日
この地震による群馬県の被害は、この8年前の関東大震災を上回った
- ・地すべり 例) 鬼石 譲原地域の地すべり
- ・気象災害 1947年9月 カスリン台風による災害
赤城山 新坂平の下の崖崩落痕は今も見ることができる
沼尾川 慰霊碑、遺構が残っている
2015年6月 ダウンバーストによる災害 伊勢崎 赤堀南小学校
2014年2月 史上最大の豪雪 統計開始以来最高値の2倍の降雪量(前橋 73cm)
- ・群馬の天気ことわざに見る気象災害
「赤城からの雷は雹をもってくる」(千代田町) 等
- ・群馬県の平野部の地下水 ⇒ 利量増 ⇒ 地盤沈下 ⇒ 橋梁等への影響が顕在化
- ・「群馬県は災害が少ない」と思い込んでいるだけで、長い歴史の中ではいくつも発生している
- ・対策として、防災教育、特に子供に対する教育が大事

6. 今年度の環境学習事業について

6-1. 地熱発電を考える

地熱エネルギーを考える会 清水さんより、計画を説明

- ・7月12日 土湯温泉バイナリー発電所見学 現在6名参加予定

(予定している質問)

- ・バイナリーの使用はなぜ？
 - ・誰が始めた？
 - ・期間は(プロジェクト)？
 - ・何が大変だったか？(法令の規制？)
 - ・収支計画は？
 - ・FS事業で400Kw、5千万円
 - ・海外製発電機を選定した理由は？
 - ・メンテナンスは？
 - ・有害物質は？
- etc.

- ・帰ってきてから考察を予定

地熱資源、温泉資源
群馬県での可能性

etc.

- ・8月4日AM 見学会の結果まとめを行う 会場：地球市民交流館

- ・11月に講演会を計画 講師：電中研 窪田ひろみ氏

開催日(候補)：11月2日, 16日, 30日

会場：高崎市役所を利用できるか？⇒及川さんに調整をお願いする

- ・部会は「協力」とする

6-2. 自然災害時のエネルギー調達を考える (被害想定、減災、自己調達可能な電気、熱源)

- ・地域環境学習推進事業へ応募したが、残念ながら採用にならなかった。
- ・開催のためには資金が必要であるので寄付を募りたい。心当たりがあったら紹介いただきたい。
- ・寄付が集まる見通しが立ったら、実施の具体的な検討をしたい。

7. その他連絡事項

- ・10月5日 県の環境フェスティバル開催予定

部会に参加協力の要請があった。会員の皆さんの参加をお願いしたい。

次回会合にて、具体的な内容をお知らせする。

8. 次回会合

【開催日時】 9月1日(日) 10:00-12:00

【開催場所】 前橋市 元気21 Mサポ会議室

【内容】 土湯温泉バイナリー発電所見学の報告

11月講演会の準備打ち合わせ

県の環境フェスティバル参加協力の件

以上